

## 第 85 回全国研究大会 開催校による統一論題解題

大会実行委員長 井上 善海（法政大学）

日本マネジメント学会第 85 回全国研究大会は、統一論題「ニューノーマル時代の企業経営 ～ひとを中心にした組織マネジメント～」のもと、2022 年 6 月 24 日（金）～26 日（日）の日程で開催いたします。

統一論題「ニューノーマル時代の企業経営 ～ひとを中心にした組織マネジメント～」のニューノーマルとは、New と Normal を合わせた造語で、「新しい常態」と訳されます。新型コロナウイルス感染リスク低減のため、人との接触機会を減らす、ソーシャルディスタンスを保つ、などといった社会生活におけるニューノーマルが定着し、企業経営も事業継続性に重点を置いたニューノーマルへの対応が喫緊の課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以外にも、米中貿易摩擦、大規模な自然災害、中国など新興国経済の減速・停滞といった、事前に発生や変化を想定することが難しい多くの外的要因が影響を及ぼしています。

このような状況下、危機的な状況に陥っている大企業も多く見受けられます。大企業は規模の経済で動いていることから経営環境変化へ即応することが難しく、事業縮小、それに伴う人員削減といった対処療法が目立ちます。中小企業は、大企業を単に小さくしたものではなく、大企業とは異なった経営特性を持っています。よくいわれるのは、柔軟性、機動性、小回り性です。この特性は、経営環境の変化が早くて大きいほど力を発揮します。

急激な経営環境の変化（Change）は、企業にとってイノベーションを起こす最大の機会（Chance）であり、挑戦（Challenge）しない手はありません。しかし、文部科学省の調査によると、約 7 割の企業がイノベーション活動を阻害する要因として「能力のある従業者の不足」をあげています。Jack Welch は、「人が第一、戦略は二の次と心得ること、優れた人材を得なければ、どんなにいい戦略も実現できない」といっています。

ニューノーマル時代に向け、ひとを中心にした組織マネジメントにより、事業継続性を高めている企業経営者をお招きし、その実践をもとに実・学一体となって、これからの企業経営のあり方を議論していきたいと考えています。会員の皆さま方におかれましては、万障お繰り合わせの上、ふるって今大会にご参加くださいますようお願い申し上げます。